

平成13年 4月12日

報道機関 各位

広島大学総務部大学情報室長  
西田良一

特別講演会の開催について

このことについて、下記のとおり実施しますので、取材をお願いします。

記

日時 平成13年4月16日(月)13:10～14:40  
場所 広島大学 教育学部 大講義室  
講師 [小和田 恆\(おわだ・ひさし\)](#)  
(日本国際問題研究所 理事長)  
演題 国際社会における日本の役割  
対象 本学 学生・教職員

【お問い合わせ先】

総務部総務課専門員 香川和信  
TEL:(0824)24-6012  
(ダイヤルイン)

[発信枚数;A4版 3枚(本票含む)]

[講演会ポスター](#)

# 講演会

- **日時** 平成13年4月16日(月)  
13:10~14:40

---

- **場所** 広島大学教育学部大講義室

---

- **講師** 小和田 恒  
(日本国際問題研究所 理事長)

---

- **演題** 国際社会における日本の役割

---

- **対象** 学生・教職員

---

## 講師のプロフィール

1991年～1993年 外務事務次官  
1994年～1999年 特命全権大使国際連合  
日本政府常駐代表

現在 日本国際問題研究所理事長  
外務省顧問  
世界銀行総裁上級顧問  
早稲田大学大学院教授

国際法, 国際政治, 国際経済の分野で  
著書・論文多数



## 小和田 恆(おわだ・ひさし)

日本国際問題研究所理事長  
早稲田大学大学院教授  
前特命全権大使国際連合日本政府常駐代表

1932年生まれ。新潟県出身。1991年から1993年まで外務事務次官を勤めた後、1994年に特命全権大使に任ぜられ国際連合日本政府常駐代表。1999年退官。現在日本国際問題研究所理事長兼早稲田大学大学院教授。他に外務省顧問、世界銀行顧問。

1955年東京大学卒業。英国ケンブリッジ大学大学院修了。外務省入省、以後同省の枢要なポストを歴任し、理論と実践の両面において日本外交をリードしてきた。外務省では、条約局、国際連合局、経済局などで勤務の後、条約局長、官房長、外務審議官を経て、1991年から1993年まで外務事務次官を勤めた。またその間、外務大臣秘書官及び総理大臣秘書官の他、在外勤務では、在米日本大使館公使、在ソ連日本大使館特命全権公使などを歴任した。その後、特命全権大使に任ぜられ、経済協力開発機構(OECD)日米政府常駐代表、国際連合日本政府常駐代表に就任し、国際連合においては安全保障理事会議長を2度に亘って勤めた。4年半の国連代表部勤務を終えて帰国、1999年2月退官。財団法人日本国際問題研究所理事長に就任して今日に至る。

外務省勤務の傍ら学術分野でも積極的に活動し、1963年から1988年まで永年に亘って東京大学で国際機構論(非常勤)を講じた。更に、1979年からは2年間に亘り米国ハーバード大学国際法教授(客員)として教鞭をとり、また国連大使在任中、米国ニューヨーク大学及びコロンビア大学法学部教授(非常勤)を勤めた。現在もニューヨーク大学法学部教授(国際法)を兼任。万国国際法学会(Institut du Droit International)会員。

国際法、国際政治、国際経済の分野で著書、論文多数。主な著書として、「創造から参画へー日本外交の目指すもの」(1994年 都市出版)及び「外交とは何か」(1996年 NHK出版)並びに“The Practice of Japan in International Law (共著)”(1982年 University of Tokyo Press)がある。